

繋がりを大切にりんご病害虫マスター

3月13日（月）、町農家の貴田勇さんと山形和也さんが県りんご病害虫マスター養成事業を修了したことを相川町長に報告しました。

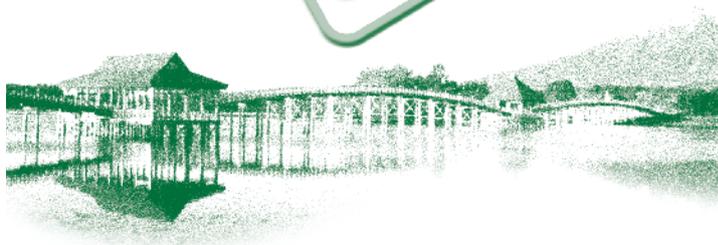
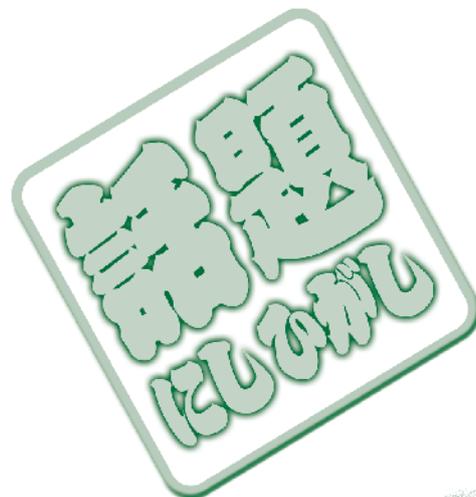
同事業は県りんご協会がりんご産地の県内市町村の協力を得て開講しているものです。

修了の報告を受けた相川町長は「仲間同士で協力し合い、町のりんご産業の発展に貢献してほしい」と話していました。

貴田さんは「最近の気候変動などで病害虫も変化しているので、日々勉強して変化に対応していきたい」、山形さんは「講習会で一緒に学んだ他市町村の人たちとの繋がりを大切に、病害虫などの情報を共有しながらりんごを生産していきたい」とそれぞれ今後の抱負を話していました。



△相川町長に報告を行った貴田さん（左）と山形さん（中央）



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

田の尻分団軽消防車両を更新

3月27日（月）、町は町消防団田の尻分団（山本健一分団長）へ、軽消防車両1台を引き渡しました。

同分団の消防車両は配備から34年が経過しており、所々に経年劣化が見られるため今回更新されました。今回導入された車両は悪路や狭い路地などにも対応できるなど、幅広い場面での活躍が期待されます。



△相川町長から引渡書を受け取る山本分団長

消防団員募集



地域を守る消防団員になってみませんか？

消防団は、地域住民の生命、身体および財産を守ることを目的とし、地域防災の要としてさまざまな活動をしています。

消防団員は、災害対応や広報活動などに従事し、鶴田町の安全安心のために活躍しています。また、特別職の地方公務員として、報酬や手当の支給、消防団活動に必要な被服の貸与、公務災害補償などの制度が設けられています。

ふるさと鶴田を守るため、消防団に入りませんか。

【入団資格】

- 鶴田町に居住している方、または勤務している方
- 年齢18歳以上60歳未満の方
- 心身ともに健康である方



■問い合わせ先

鶴田消防署 TEL：0173-22-2131

新たに4人が着任 地域おこし協力隊

4月3日（月）、「鶴田町地域おこし協力隊」の着任式が行われ、新たに4人が着任しました。

任用通知書を交付した相川町長は「鶴田町を選んでくれて嬉しく思います。目標に向けて頑張っていく、町に新しい風を吹き込んでほしい」と期待を寄せていました。

着任した隊員については、広報つるた5月号にて紹介予定。

【隊員としての取り組み内容】

- ・ スチューベンの情報発信や販売促進活動に取り組み、町内でぶどう農家として就農を目指す
田村博人（東京都）、葛西忍・あゆみ（大阪府）
- ・ 町のプロモーション活動や商工事業者の課題抽出・解決策の模索に取り組み、町内で企業、事業承継を目指す
毛利精悟（弘前市）

（ ）内移住前住所



△相川町長と任用通知書を持つ新隊員の皆さん（左から田村博人さん、葛西あゆみさん、葛西忍さん、毛利精悟さん）

地域の桜を守っていくために

4月2日（日）、間山町内会（成田豊昭会長）は間山地区農村公園の桜の剪定や周辺地域のゴミ拾いを行いました。

同会では、約30年前から住民が桜の木を植樹。毎年この時期に桜の剪定などを行い、地域の景観を守ってきました。

当日は朝から同町内会の住民約80人が集まり、桜の剪定班とゴミ拾い班に分かれて作業を開始しました。住民たちは高枝切りバサミやチェーンソーなどを使って、公園や約500mの桜並木の桜を一本ずつ丁寧に剪定していました。また、同地区周辺の道路などのゴミを拾い集めて、地域の美化に取り組んでいました。



①桜の剪定を行う住民 ②昨年の満開時の同地区の桜並木

今月の ライス☆シェアメニュー

投稿
お礼がとろ♪



さわさん投稿 親子丼

あっさりポン酢で
味付け♪

メニューを募集中

町では、お米のさらなる消費拡大・地産地消を図るため、お米を使った料理の投稿を随時募集しています。

ライス☆シェアにご協力いただける方は、

産業課農業振興班
(nousin@town.tsuruta.lg.jp)

まで下記事項をご記入のうえ、メールを送信してください。

- ①氏名（ハンドルネーム可）
- ②料理写真
- ③一言ポイント

広報に掲載されたら、
町からつるりんグッズを
プレゼント♪



▲詳細はこちらよりご確認ください